



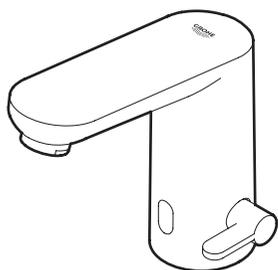
洗面自動混合栓

36327 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

この説明書をお客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要	1
■ 安全上のご注意	5
■ ご使用方法	11
■ 凍結のおそれがある場合	15
■ 日常のお手入れ	16
■ 定期的なお手入れ	19
■ 定期的な部品交換のお願い	24
■ 修理を依頼される前に	25
■ アフターサービスについて	31

仕様

はじめに

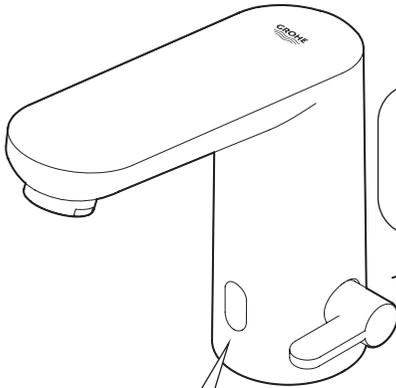
つかいかた

お手入れ

こんな時は

仕様

商品概要



温度調節⇒ P.11
本体横のレバーを回転させることで吐水温度を簡単に調節できます。

乾電池仕様⇒ P.4
電源工事なしで設置が可能です。

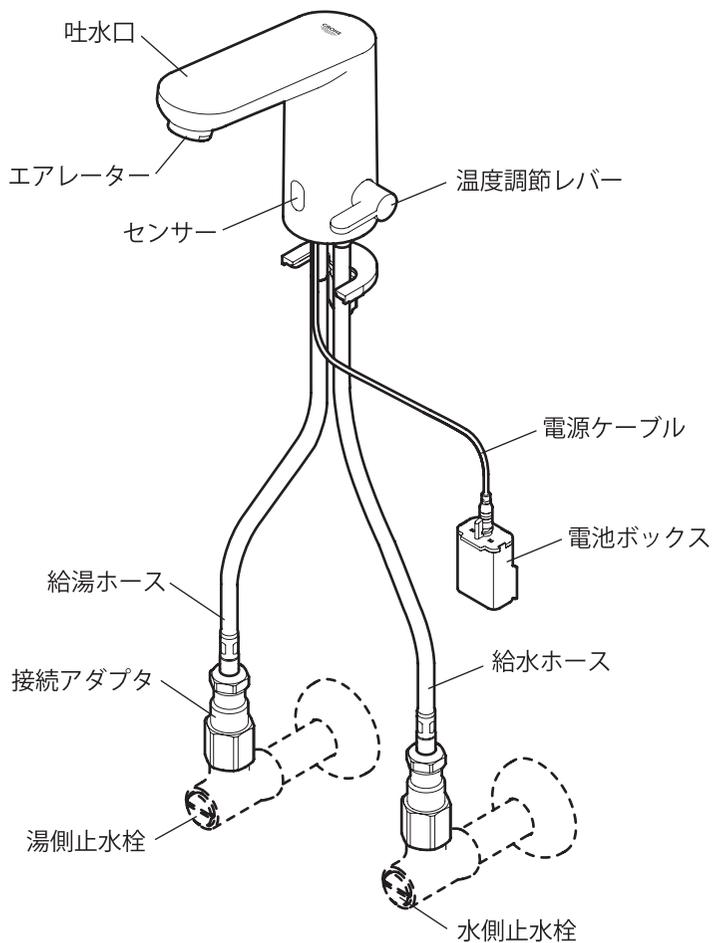
センサーによる自動吐水⇒ P.11
センサー部に手を近づけると吐水、遠ざけると自動的に止水します。

クリーニングモード⇒ P.16
センサー部でクリーニングモード（センサー反応制御）の設定ができます。

こんなときは

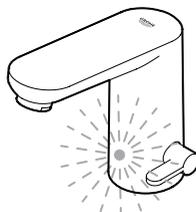
湯や水が出ない	電池ボックスに電池が正しく入っていますか？	P.13
	電源ケーブルが電池ボックスに正しく接続されていますか？	P.4
	止水栓が閉まっていませんか？	P.28
	センサー表面が汚れていませんか？	P.16
湯や水の流量が少ない	流量を確認しましたか？	P.28
その他お困りごと	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.25

各部の名称



乾電池使用
※6Vリチウム電池 (CR-P2)

点滅で電池交換時期をお知らせします。



ご使用前に

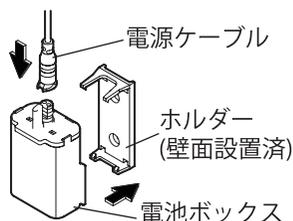
●電池ボックスの確認

- 電池ボックスに 6V リチウム電池 (CR-P2) が正しく差し込まれていることをご確認ください。

※初期同梱の電池は施工時の動作チェック用のため、新品の未使用電池よりも寿命が短い場合があります。

- 電源ケーブルが電池ボックスに正しく接続されていることをご確認ください。

※電源ケーブルと電池ボックスを接続し直した場合、接続後 3 分間はセンサーを操作しないでください。製品が最適に動作するための処理が行われているため、この時間内にセンサーを操作すると、正常な動作が妨げられる可能性があります。



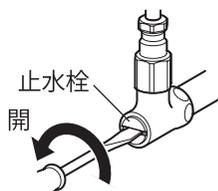
誤ってセンサーを操作してしまった場合は、電源ケーブルを電池ボックスから外して再接続してください。

再接続後 3 分間はセンサーを操作しないでください。

●流量の調整

湯と水の止水栓を全閉状態から少しずつ開けて、適正流量になるよう調整してください。適正流量は 3 ~ 4L/分です (500mL の容器をいっぱいにするのに約 8 ~ 10 秒)。

流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。



安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

 警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
 注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
 (水場禁止)	「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	給湯器の設定温度は 60℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をご使用のときは、吐水口やホースが高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (接触禁止)	水栓の左側（壁付水栓の場合は湯側取付脚）は、高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	ストレーナーの掃除をするときは、止水栓または元栓を閉めてください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	定期的にガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 警告：発火、感電防止のために

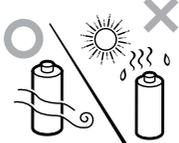
 (分解禁止)	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。 ※発火、感電、故障、破損の原因となります。 ※異常動作し、ケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因となります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の品質基準に適合する水をいいます。	

⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (禁止)	中性洗剤以外は使用しないでください。 ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。	
 (禁止)	電池ボックスに水をかけないでください。 ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。	
 (禁止)	バスルームなどの水がかかる場所や、表面に水滴を生じるような湿気の高い場所では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	
 (禁止)	コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 ※コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。	
 (禁止)	異なる種類の乾電池や新旧の乾電池を一緒に使用しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を充電しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を分解・加工・改造しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を水の中に入れてください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を加熱したり、火の中に投げ入れないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を強制放電しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	

はじめに

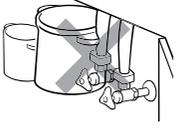
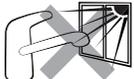
⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (指示)	乾電池の液が漏れたときは液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した乾電池は使用しないでください。 ※漏れた液が残っていると、故障の原因となります。	
 (指示)	乾電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しが良く乾燥した、あまり温度の上がらない場所に保管してください。 ※湿度が高いと乾電池に露（水分）がつき、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置されると性能が低下します。	

⚠ 注意：正しくご使用いただくために

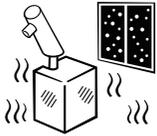
 (禁止)	水を飲むときは、水の出口に直接口をつけないでください。 ※ケガをするおそれがあります。	
 (指示)	めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。 ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼は取付店（または販売店）またはグローバルサービスセンターへご連絡ください。	ハガレ 
 (禁止)	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。	
 (禁止)	水栓本体に直接水をかけないでください。 ※キャビネット内に水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれや機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	吐水口先端に重い物を下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。	
 (指示)	感知範囲内に障害物が入らないようにしてください。 ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。	

▲ 注意：正しくご使用いただくために

 (禁止)	キャビネット内の物を出し入れするときは、ホースに引っ掛けるなど無理な力が加わらないようにしてください。 ※ホースの外れや損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	直射日光の当たる場所では使用しないでください。 ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。	
 (指示)	長期間ご使用にならない場合は、乾電池を電池ボックスから抜いてください。 ※誤操作や故障などによる予想しない事故の原因となります。	
 (禁止)	水の出口をふさいだ状態で使用しないでください。 ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。	
 (禁止)	使い始めの水は飲用しないでください。 ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。	(使い始め) 
 (禁止)	止水機構を持った浄水器は、取り付けしないでください。 ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。 ※水の出口に浄水器を取り付けると、パッキン類が摩耗し、耐久性が低下することがあります。	

はじめに

⚠ 注意：凍結防止のために

 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、凍結予防を確実に実施してください。</p> <p>※変形したり故障して、漏水の原因となります。</p> <p>※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。</p> <p>※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。</p> <p>※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 <p>(禁止)</p>	<p>解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>※水栓が発熱して破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

ご使用方法

温度の調節

温度調節レバーをまわすことにより、吐水温度の調節を行うことができます。



レバーを後ろにまわすと、湯（高温）になります。

レバーを手前にまわすと、水（低温）になります。

- 高温をご使用になるときは、必ず水側にまわしてからゆっくり湯側へまわして、お好みの温度に調節してください。
- 温度調節レバーは構造上、湯側・水側それぞれにまわしきっても完全に湯のみ・水のみ吐水にはなりません。

※設置環境によっては吐水温度に影響が出る場合もあります。

水を出す・止める



本体前のセンサー（黒い楕円状の部分）の手前に手を近づけると、約1～2秒後に水が出ます。センサーから手を遠ざけると、約1～2秒後に止まります。またセンサーの反応範囲は直線的で斜めに近づけても反応しません。

【節水機能】

1分間出し続けると自動的に水が止まります。

再び水を出したいときは、一度手を引き、再び手を差し出してください。

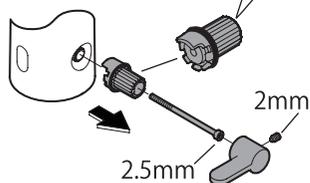
- センサーの反応範囲は直線的のため、斜めに近づけても反応しません。
- センサー感知には約1～2秒のタイムラグがあります。
- 節水機能は解除できません。
- 水が出ているときに電池を抜かないでください。節水機能が働かなくなり、止まらなくなります。

高温リミッター

高温側に温度調節レバーがまわらないようにする「危険防止リミッター」機能が付属しています。高温リミッターのピンの取付位置を変えることで、吐出の最高温度を変えることができます。

※高温リミッターはレバーの操作角度を制限するものです。給湯温度によって吐水の温度は変わります。

※取り付けなくても製品はご使用いただけます。



【高温リミッター取付位置とハンドル操作角度】

		操作可能角度：小 吐水最高温度：低
		操作可能角度：中 吐水最高温度：中
		操作可能角度：大 吐水最高温度：高

乾電池の寿命と交換方法

電池が消耗すると、本体前のセンサー（黒い楕円状の部分）が断続的に点滅します。

電池交換時期を知らせるサインですので、市販品「CR-P2」をご用意し交換してください。



【電池の寿命】

新品のリチウム電池 CR-P2 で 150 回 / 日作動した場合、約 3 年ご使用できます。

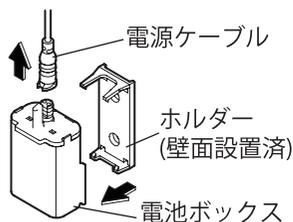
※設計上の理論値であり、性能を保証するものではありません。電池の種類や設定環境により変動します。

※初期同梱の電池は施工時の動作チェック用のため、新品の未使用電池よりも寿命が短い場合があります。

【交換方法】

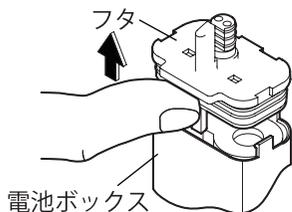
電池交換は、以下の手順に従って交換してください。

1. 止水栓を閉じる。



2. カウンター下に設置されているホルダーから電池ボックスを外し、電源ケーブルを抜く。

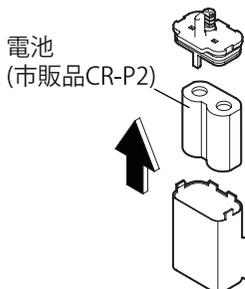
電源ケーブルを抜くときは、必ず根本部分を持ってまっすぐ引き抜いてください。



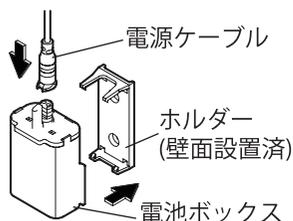
3. 電池ボックスのフタを上押し上げて外す。

電池ボックスの接続端子にキズをつけないよう注意してください。

電池ボックスは樹脂製です。破損しないよう取り扱いに注意してください。

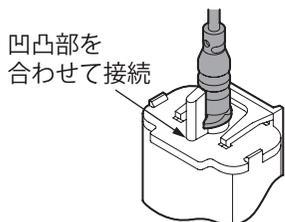


4. 電池ボックスから電池を取り外し、新しい電池と交換する。

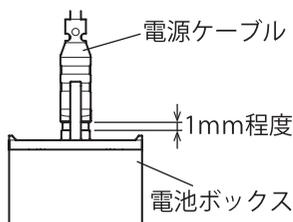


5. 水栓本体の電源ケーブルを電池ボックスに接続し、電池ボックスをホルダーに取り付ける。

電池ボックスの凸部と電源ケーブルの凹部を合わせて接続してください。



ケーブルは奥までしっかり差し込んでください。



電源ケーブル先端と電池ボックスの間隙 1mm程度になるまで差し込んでください。

電源ケーブルと電池ボックスを接続し直した場合、接続後 3 分間はセンサーを操作しないでください。

※製品が最適に動作するための処理が行われているため、この時間内にセンサーを操作すると、正常な動作が妨げられる可能性があります。誤ってセンサーを操作してしまった場合は、電源ケーブルを電池ボックスから外して再接続してください。再接続後 3 分間はセンサーを操作しないでください。

凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。

凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。

凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

日常のお手入れ

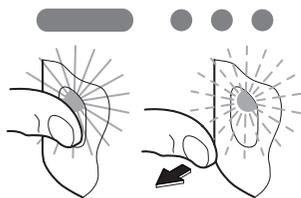
いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

クリーニングモード

水栓を清掃する際、センサーが反応して吐水してしまわないように、3分間センサーを無効にするモードです。この機能は、3分後に自動的に解除されます。引き続き清掃が必要な場合は、再度クリーニングモードにしてください。



1. センサーの半分より下側に指を当てたままにする（この時は吐水）。



2. ランプが3回点滅したら、指を離す。

必ず3回点滅後に指を離してください。

※指を当てたままにし続けると、エラーになり、5分ほど水が出っぱなしになります。

※万が一指を離すタイミングを誤った場合は、電池ボックスと本体の電源ケーブルを外して、再接続してください。再接続後3分以上待ってからセンサーを操作してください。



3. 点滅終了後、3分間のクリーニングモードに入り、センサーに手をかざしても吐水しなくなります。クリーニングモードの間はランプが短い点滅を繰り返します。

布などを使用したお手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないように、から拭きしてください。

重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。



【センサー部】

- センサーに水滴が付いていたら、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- センサーに直接水または洗剤をかけないでください。
※誤作動や破損、故障の原因となります。
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、メラミンフォーム、ブラシなどは使用しないでください。
※センサーにキズがつくと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

【電池ボックス部】

- 電池ボックスに水または洗剤をかけないでください。
※破損や故障の原因となります。

【センサー部、電池ボックス部以外の部分】

- メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。

変色やキズがついてしまった場合は、取付店（または販売店）またはグローバルサービスセンターへお問い合わせください。

水の出口の掃除

水の出口は、常に清潔な状態を保つように心がけてください。ご使用中のはね返りや食材が水の出口に付着し、汚れる場合があります。清潔な歯ブラシなどでこまめに掃除をしてください。

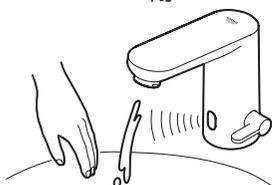
定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、取付店（または販売店）またはグローエサービスセンターへ修理をご依頼ください。

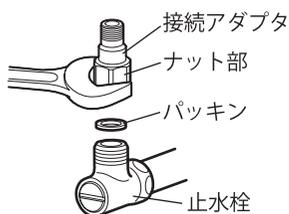
また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

ストレーナーの掃除

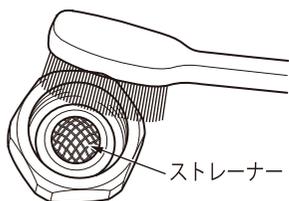
流量が少なくなったり、水の出方が乱れる場合は、ストレーナーにゴミが詰まっている可能性があります。以下の手順で掃除をしてください。



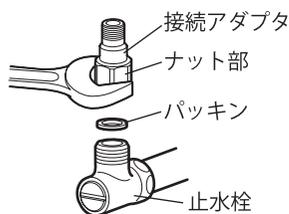
1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにあわす。センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。



2. 接続アダプタのナット部に工具をかけて、止水栓から取り外す。



3. ストレーナーのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とし、水洗いして除去する。



4. パッキンに異物が付着していないことを確認する。異物が付着している場合は、傷がつかないように洗い流す。

5. 接続アダプタのナット部に工具を掛けて止水栓に取り付け、しっかりと締め付ける。

パッキンに異物が付着していたり、ナット部の締め付けが緩いと、漏水の原因となります。



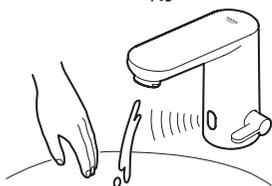
6. 止水栓を少しずつ開けながら、センサーに手をかざして水を出し、適切な流量に調整する。

適正流量は3～4L/分です(500mLの容器をいっぱいにするのに約8～10秒)。流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

エアレーターの掃除

流量が少なかったり、水の出が乱れてきてストレーナーの掃除 (P.19) をしても解消されない場合は、エアレーターのゴミづまりが考えられます。次の手順で掃除をしてください。



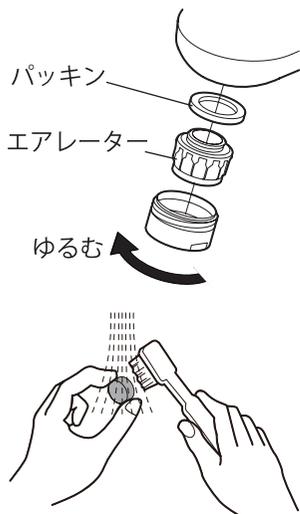
1. 止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。もしくは水栓をクリーニングモードにする。
2. センサーに手をかざして水を出し、水が止まったことを確認する。

3. 排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水口の上にタオルや洗面器などを置く。



4. エアレーターの溝にスパナ等の工具を当てて反時計まわりにまわして取り外す。

製品を傷つけないよう、製品と工具の間に布を当てて作業してください。

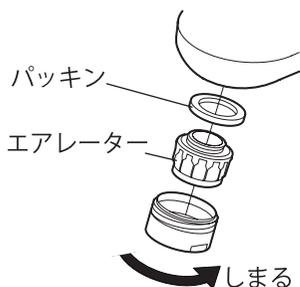


5. エアレーター内のゴミを取り除く。

取り外した部品は、なくさないようご注意ください。

清掃後は、確実にエアレーターを取り付けてください。

エアレーターやストレーナーは樹脂製です。強くこすらないでください。



6. エアレーターを元に戻し、スパナ等の工具で確実に取り付ける。



7. 止水栓を少しずつ開けながら、センサーに手をかざして水を出し、適切な流量に調整する。もしくはクリーニングモードが解除されるまで待つ。センサーに手をかざして水が出ることを確認する。

適正流量は3～4L/分です(500mLの容器をいっぱいにするのに約8～10秒)。流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。

水まわりの漏水(年2回以上)

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水栓本体のガタツキ(年2回以上)

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。取付店（または販売店）またはグローエサービスセンターへ修理をご依頼ください。
※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジ、バルブカートリッジなど）、電装品（電磁弁、センサーなど）、パッキンなど

〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 ／ 10 ／ 11 ／ 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

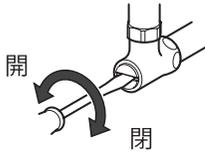
消 耗 部 品 の 交 換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

買換え
ご検討

修理を依頼される前に

製品以外の不具合、ならびに製品以外に起因する当該製品の不具合については、保証対象外となります。



漏水している場合は、止水栓を閉めてください。
その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

※止水栓の形状は機種によって異なる場合があります。

水が止まらない		
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	P.17
センサー近辺に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。	—
取付可能な洗面器以外と組み合わせていませんか？	洗面器を感知している可能性があります。取付可能な洗面器と組み合わせてください。	—

高温の湯しか出ない		
水側の止水栓は十分開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.28
湯側の流量が多すぎませんか？	温度調節レバーは構造上、水側にまわしきっても湯が混ざって吐水されるため、湯側の流量が多すぎると水になりません。	—

湯にならない		
湯側の止水栓は十分開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.28
水側の流量が多すぎませんか？	温度調節レバーは構造上、湯側にまわしきっても水が混ざって吐水されるため、水側の流量が多すぎると湯になりません。	—

湯にならない		
給湯器の設定温度が低くなっていませんか？	給湯器の温度を調節してください。給湯温度は 60℃以下 に設定してください。	—

水が出ない		
乾電池は正しくセットされていますか？	乾電池を正しくセットしてください。	P.13
電池切れになっていませんか？	乾電池を交換してください。	P.13
断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
止水栓が閉まっていますか？	止水栓を開けてください。	—
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.17
手以外のものをセンサーにかざしていませんか？	透明なガラス・プラスチック製品、ステンレス製及びめっきを施したもの、黒に近い色のものは、感知しなかったり、感知距離が短くなったりします。 感知範囲内に手をかざしてご使用ください。	P.11
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.19
エアレーターにゴミが詰まっていますか？	エアレーターにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.21
電源ケーブルが電池ボックスにしっかりと差し込まれていますか？	電源ケーブルを電池ボックスに差し込んでください。	—

水が出たり止まったりを繰り返す・勝手に出る		
センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていませんか？	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.17
センサーの「自動吐水モード」がONになっていませんか？	初期設定ではOFFになっていますが、製品のご使用中に誤ってONになってしまった可能性があります。「自動吐水モード設定方法」をご参照いただき、自動吐水モードをOFFにしてください。	P.29

流量が少ない		
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.19
エアレーターにゴミが詰まっていますか？	エアレーターにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.21
流量を確認しましたか？	本製品は流量規制部材を内蔵しているため、吐水量は最大約 5L/分です。	—

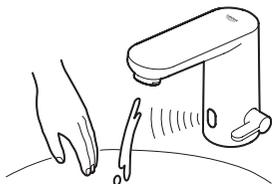
エアレーター根元から水が漏れる		
エアレーターがしっかり締め込まれていますか？	エアレーターをしっかりと締め込んでください。	P.21

ラジオにノイズが入る		
水栓の近くに置いていませんか？	ラジオを水栓から遠ざけてください。	—

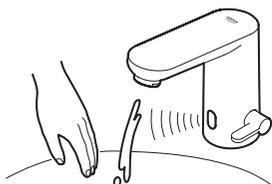
以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、取付店（または販売店）またはグローバルサービスセンターまでお問い合わせください。

●止水栓による流量調整

止水栓を調整します。流量が少ない場合は、以下の手順に従って調整してください。



1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいまわす。センサーに手をかざして水が止まったことを確認する。



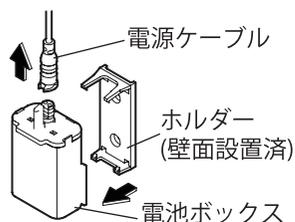
2. 止水栓を少しずつ開けながら、センサーに手をかざして水を出し、適切な流量に調整する。

適正流量は3～4L/分です(500mLの容器をいっぱいにするのに約8～10秒)。流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。

3. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

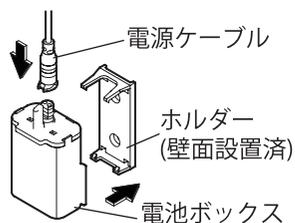
●自動吐水モード設定方法

水が出たり止まったりを繰り返す・勝手に出ることがある場合は、センサーを掃除してください。解消されない場合は、以下の手順で自動吐水モードがOFFになっているか確認してください。初期設定ではOFFになっていますが、製品のご使用中に誤ってONになってしまった可能性があります。



1. カウンター下に設置されているホルダーから電池ボックスを外し、電源ケーブルを抜く。

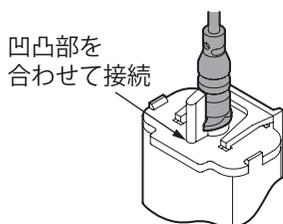
電源ケーブルを抜くときは、必ず根本部分を持ってまっすぐ引き抜いてください。



2. 10秒以上待機してから、水栓本体の電源ケーブルを電池ボックスに接続し、電池ボックスをホルダーに取り付ける。その後、3分以内に3～6を実施する。

電池ボックスの凸部と電源ケーブルの凹部を合わせて接続してください。

ケーブルは奥までしっかり差し込んでください。





3. センサーの半分より下側に指を当てたままにする（このときは吐水）。



4. ランプが10回ほど速く点滅する。点滅が終わったら一度指を離す。



5. もう一度センサーに指をかざし、ランプが1回点滅したら指を離す。

1度点滅したタイミングで必ず指を離してください。かざしたままにすると別の設定モードに切り替わってしまいます。

万が一指を離すタイミングを誤った場合は、1の操作からやり直してください。



6. ランプが1度点滅→6秒ほど無点灯→3度点滅することを確認する。これがモード設定終了の合図です。

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.25)」を確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

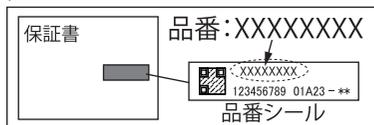
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、右記参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《商品のお問い合わせ・修理のご依頼は》

取付店／販売店またはグローエサービスセンターへ

TEL 0570-666-368

FAX 011-200-1283

メールアドレス grohe_servicecenter@lixil.com

受付時間 9:30～17:30（土・日・祝定休）

*上記時間外および土・日・祝は漏水等の緊急のご相談のみ専用コールセンターにて承ります（電話番号は同上）。

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社個人情報保護方針に記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。

仕様

電源	6V リチウム電池 (CR-P2)
使用圧力範囲	0.1(流動時)～0.74(静止時)MPa
使用水	水道水および飲料可能な井戸水 (注1)
使用環境温度範囲	1～40℃ (注2)
使用環境湿度範囲	90%RH 以下
使用可能流量範囲	2～5L/分
感知方式	赤外線センサー
感知距離	120mm 以下
給水(給湯)接続	G1/2

(注1)：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

(注2)：破損するおそれがありますので、凍結する可能性のある場所では使用しないでください。

商品のお問い合わせ・修理のご依頼はグローエサービスセンターまで

TEL 0570-666-368

FAX 011-200-1283

メールアドレス grohe_servicecenter@lixil.com

受付時間 9:30～17:30（土・日・祝定休）

*上記時間外および土・日・祝は漏水等の緊急のご相談のみ専用のコールセンターにて承ります（電話番号は同上）。

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>

GAG-0177(26040)